

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市太白障害者福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市障害者福祉協会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 6,873人(前年度比 123.5%) ・令和3年度 5,567人(前年度比 107.2%) ・令和2年度 5,193人(前年度比 51.3%)	
	《事業》 ○貸館事業:障害者の自主的な活動及び障害者の福祉に関する市民の自発的活動のための施設の提供その他の援助 ○障害者の福祉に関する講習会の開催その他福祉に関する啓発活動 ○障害者福祉センターの運営管理	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 27,788千円 (27,579千円) ・ その他市が負担した費用 11,132千円 (941千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和4年12月にアンケートを実施。	

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>協定書及び仕様書に則った管理運営がなされている。センターの事業推進については、館内法人との打合せを行い、条例や運営要領、基本方針等の共有理解を図っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例年行っていた行事の中止を余儀なくされたが、代替の行事を開催し、障害福祉の理解・啓発に努めた。</p>	24/24
II 施設の運営管理体制	<p>個人情報や情報セキュリティ、事故防止対策への取組みなど、研修やマニュアル作成等により職員への周知を図っており、適切な運営が行われている。</p> <p>また、災害発生時に備え、職員の行動マニュアル策定や、避難訓練を実施しており、近隣施設や地域との連携にも努めている。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>清掃委託業者のみならず、職員も保守点検チェックシートに基づき、定期的に館内を巡回し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する取組みが行われている。</p> <p>また、仙台市環境行動計画を基に節電、節水、ごみの減量等に取り組むなど環境に配慮した取り組みを進めている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>全職員を対象にしたマナーアップに関する研修を開催し、利用者に対する接客マナーの向上に努めている。利用者アンケートでも全ての項目において平均4点(満足)以上と高い評価を得ており、アンケートの内容に対しては対応策を含めた回答を利用者へ向け掲示している。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>日常的に敷地内の点字ブロックや通路等を点検し、利用者にとって利用しやすくなるよう、施設の維持管理を行っている。</p> <p>講座等の募集時、町内会の回覧板や市政だよりを含め、広く周知している。また講習会や啓発活動を行った後は、毎回アンケートを実施し、障害の有無に関わらず幅広く障害福祉の普及に向けて企画できるよう、ニーズの把握に努めている。</p>	9/9

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）による自己評価》
<p>仙台市太白障害者福祉センターの指定管理期間の1年目にあたる令和4年度は、指定管理者事業計画書に基づいて以下の事業に取り組んだ。</p> <p>利用者本位で実現性の高い事業計画では、余暇活動・障害者スポーツを計6回実施して参加者延べ31名に余暇活動の充実を図った。障害者週間には利用者作品展、コンサートを実施して来館者延べ178名に障害理解普及啓発を行った。年度末にはふれあいギャラリーとして当センターの活動紹介を1階ロビーで放映し、来館者延べ382名に地域交流する機会を設けた。</p> <p>地域、関係団体・機関との関わり方や取り組みでは、仙台市太白区障害者自立支援協議会から出前講座の依頼を受けて、当センターの専門職が参加者24名に運動教室を通じて地域リハビリテーションの活性化に係る取り組みを実施した。太白区民祭りに出展して、来場者513名に障害理解普及啓発を行った。</p> <p>その他、施設の管理運営の方針に沿った取り組みでは、当センターの貸館利用団体にコンサートの演者や障害者スポーツの講師を依頼し、貸館利用団体の活動の活性化を支援した。ポッチャ大会(参加者25名)の実施を通じて貸館利用団体相互の交流や地域住民と交流する機会を創出した。</p> <p>地域防災力の強化に係る取り組みでは、上級救命講習、仙台市シェイクアウト訓練に加え、洪水発生を想定した福祉避難所開設訓練、人工呼吸器装着児者への電源確保訓練を行い、避難者の受け入れ体制を強化した。また、令和4年7月17日未明の大雨による警報レベル3発令時には、職員が参集し、人工呼吸器装着児者の受け入れ態勢を整えた。</p> <p>人材確保及び育成では、今年度採用した貸館事務員は、貸館事務業務を通して、生活のリズムと就労への自信を取り戻し、フルタイム勤務の一般就労を果たした。</p> <p>次年度においても、障害者福祉の地域拠点機能を担い、災害時には福祉避難所を運営できるよう役割を果たしていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設内の他法人との連携を図りながら、協定書及び仕様書に基づいた適切な施設の管理運営がなされている。</p> <p>今年度もコロナ禍により一部実施が難しかったが、センター内にとどまらず、町内会や民生委員、近隣学校と連絡調整を行ったり、適宜アンケート等で希望等を把握しながら、地域住民を広く対象とした各種講座やイベントの開催を継続して行なう等、障害者福祉の普及啓発に努めている点で、施設の設置目的を果たしていると評価できる。</p> <p>また、洪水発生を想定した垂直避難訓練や福祉避難所開設訓練、人工呼吸器装着児者の電源確保のための一時避難受入れの確認など、災害時発生時の体制の構築を図っている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課